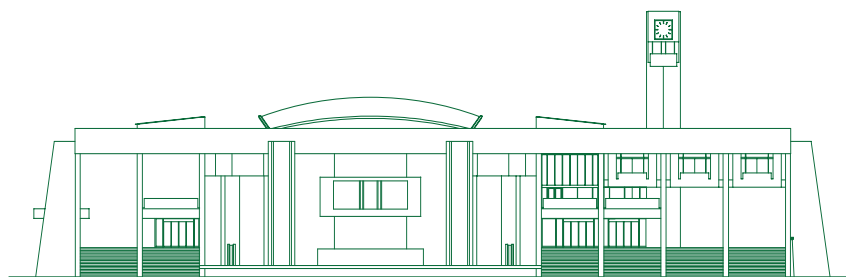


世界屈指の学術分野開拓

2018年5月13日



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

把名古屋大学建成“世界顶级研究型大学” —7项举措—



创建孕育全球尖端研究成果的
顶级研究型大学

01

02

培育引领知识型社会的
优秀博士研究生



创建吸引全球人才的
国际化校园，并积极拓展海外分支

03

04

携手并进的名古屋大学

与社会



弹性系统为基础
建立共同治理制度

05

06

通过管理资源的有效循环
加强财务基础



借助全新多校区体系
建立持续发展的良性循环

07



ノーベル賞研究の系譜を次世代に引継ぐ



野依良治：不斉触媒の開発（合成化学）
下村 脩：緑色蛍光蛋白質の発見
（蛋白質化学・生命科学）



ITbM 世界トップレベル研究拠点（WPI） トランスフォーマティブ生命分子研究所

合成化学と動植物学のMixed Lab：Nature関連誌の高引用論文・特許多数。本学の先端研究のモデルケース



2016年度中間評価で最高のS評価



益川敏英：6元クォーク模型：
小林 誠 小林・益川理論
（素粒子・理論物理）



赤崎 勇：青色LEDの発明
天野 浩（物性物理・材料科学）



CIRF

GaN研究コンソーシアム

基礎研究・橋渡し・実用化研究・社会実装をシームレスにつなぐ新しい研究プラットフォーム



未来材料システム研究所
未来エレクトロニクス
集積研究センター（CIRFE）

素粒子宇宙起源研究機構 Kobayashi-Maskawa Institute for the Origin of Particles and the Universe

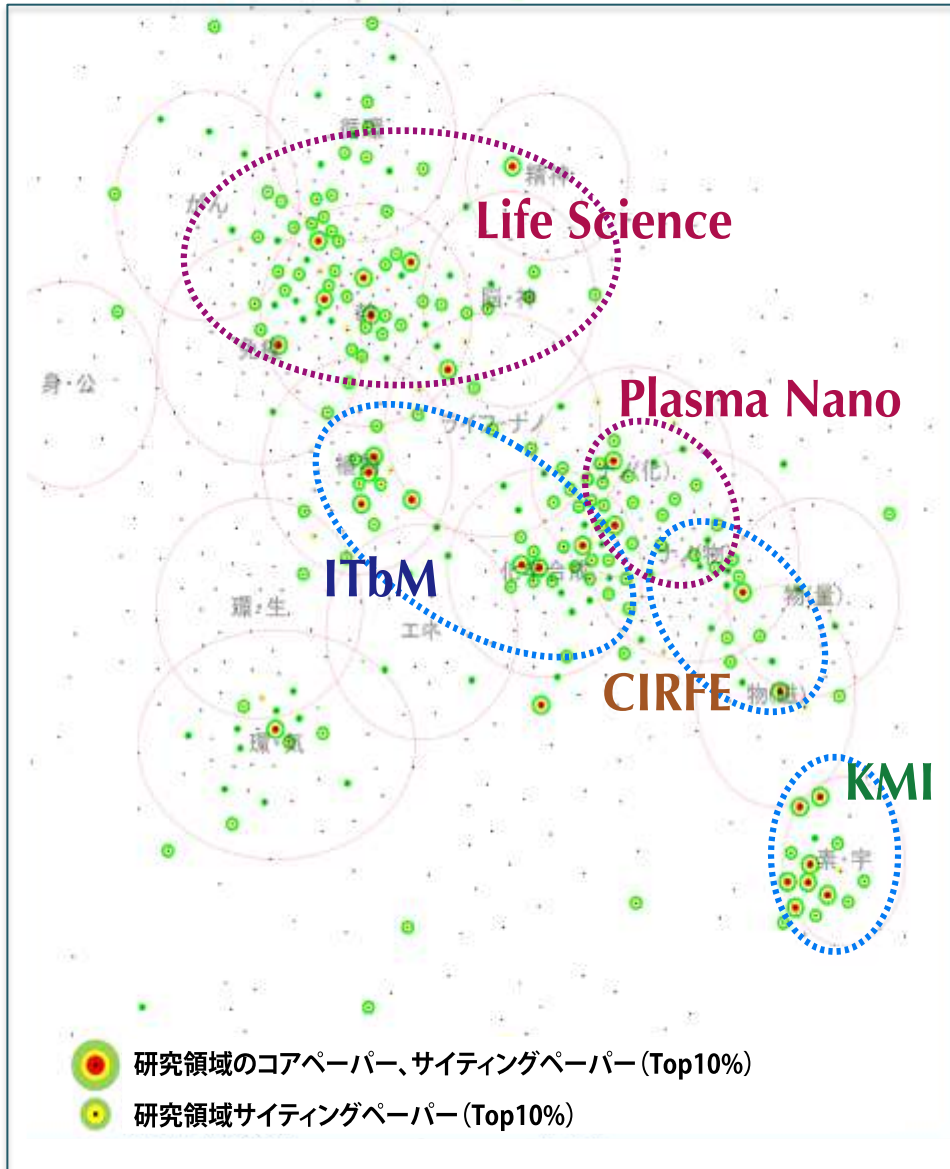


KMI

国際共著論文、高被引用論文を多数発表

名古屋大学のコア論文分布図から

(Science Map by NISTEP 2012)



ITbM ←

野依良治：不斉触媒の開発
(合成化学)

下村 脩：緑色蛍光蛋白質の発見

CIRFE ←

赤崎 勇 蛋白質化学の発明
柴野 浩 (物性物理・材料科学)

KMI ←

益川敏英：6元クォーク模型：
小林 誠 小林・益川理論
(素粒子・理論物理)



博士後期課程の強化
すべてのStageの研究推進力

教育施策の中心課題



これまでの博士人材の課題：

- ・限られた専門性とネットワーク
- ・国際通用性に乏しい
- ・多様性への理解が不足
- ・内向き志向
- ・課題解決能力が不十分
- ・社会と繋がる力が弱い

博士課程リーディングプログラム、
スーパーグローバル大学等の成果：

- ・新たな課題に挑戦する研究力
- ・高い国際発信力
- ・社会や産業とつながる力
- ・リーダーシップマインドの涵養

全博士課程に拡大

博士課程教育推進機構

博士課程教育のデザイン、質保証、推進

国際発信力

JDプログラム*
英語力増強研修・演習
英語授業拡充
プレゼンテーション研修
海外研修
留学生シェアハウス制度

研究力

多彩な指導体制
副指導教員制度
学位の質保証
JDプログラム
海外研究留学

社会とつながる力

国際情勢理解のための講演会
海外実地研修(体験的課題理解)
インターンシップ(企業・機関)
産業界との共同研究
ベンチャー起業

予想される新たな展開

- ・卓越大学院
- ・JDプログラム
- ・産学共創教育・産学共創プラットフォーム(院生フルタイム雇用)
- ・アントレプレナー教育等

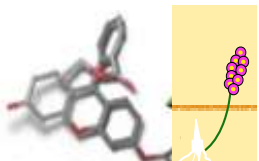
トランスファラブルスキル研修・研究倫理・数理データサイエンス教育・キャリアパス支援

13 研究科 博士人材育成プラットフォーム

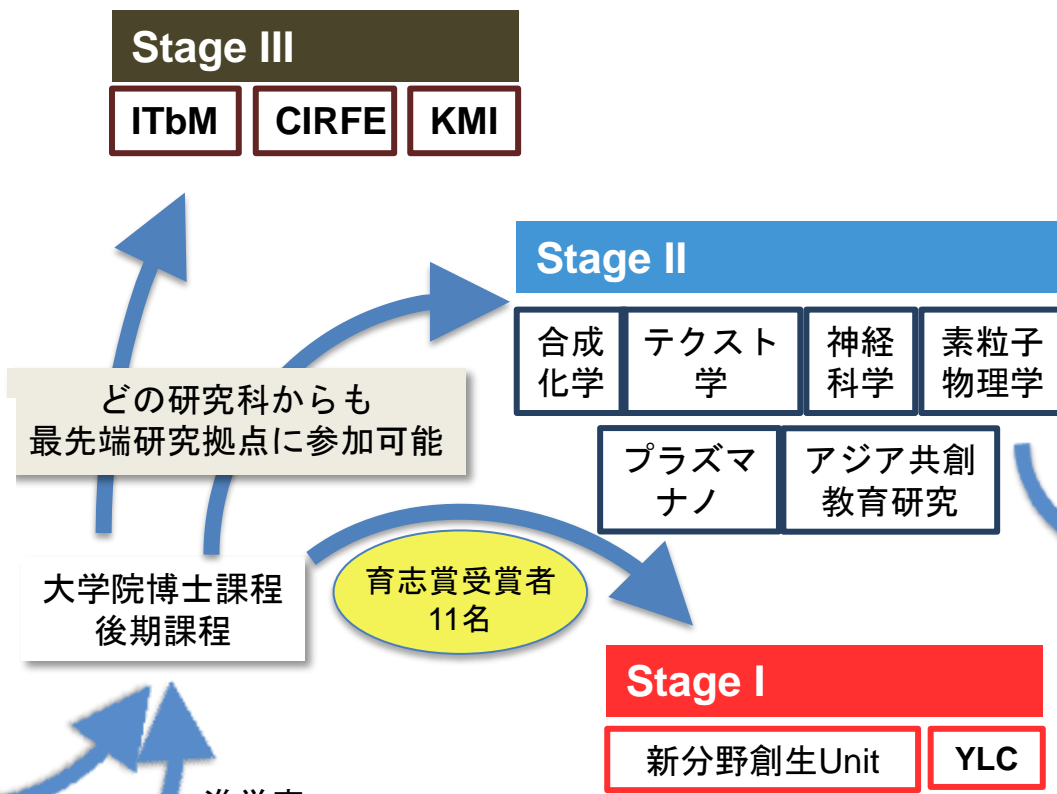


理学研究科・ITbM

吉村 紘彦 (D3)



- ・ヨシムラク톤を開発
- ・アフリカの飢餓を救う発見 (Science 2015)



大学院博士課程
後期課程

育志賞受賞者
11名

どの研究科からも
最先端研究拠点に参加可能

Stage II

- 合成化学
- テキスト学
- 神経科学
- 素粒子物理学
- プラズマナノ
- アジア共創教育研究

Stage III

- ITbM
- CIRFE
- KMI

世界中から
後期学生を
惹きつける

大学院博士課程
前期課程

進学率
の上昇

Stage I

- 新分野創生Unit
- YLC



- 三宅 美沙 (准教授)
- ・屋久杉を使い太陽フレア研究に新風 (Nature 2012)

宇宙地球環境研究所

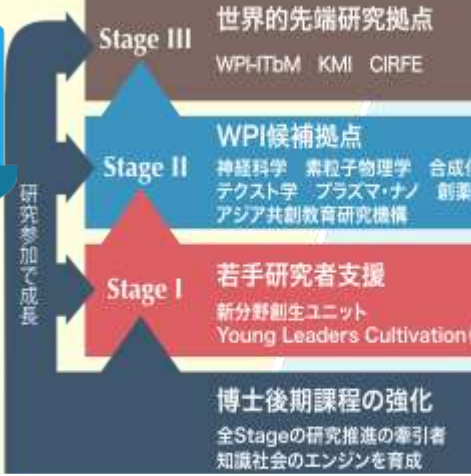


シンクロtron光研究センター

西谷 智博 (特任講師)



- ・ベンチャー設立
- ・NEDO Technology Commercialization Program 最優秀賞



研究参加で成長



- WPI (ITbM) での女性PI の活躍
- WPI を目指す若手研究者によるWPI-next プロジェクト推進
- 名古屋大学若手育成プログラム (YLC) による若手研究者支援
(計62名、女性15名)
- 本学独自予算により特任助教として48名 (うち女性12名) を採用
- 総長管理定員 女性PI枠 設置等による女性研究者採用支援
- 女性教員比率の向上 (2016年 17.9%) → 20% (2020) → 30% (2026)

- ◆ 科研費採択件数に占める女性研究者のシェア15.4%(旧帝大で1位)
- ◆ UN Women「HeForShe」事業「IMPACT10×10×10」女性活躍を推進する世界10大学に国内で唯一選出

世界トップ女性教授の系譜(文化功労者、中日文化賞、紫綬褒章、文部大臣表彰等)



岡崎 恒子 1983



郷 通子 1989



森 郁恵 2004



楠 美智子 2007



上川内 あづさ 2011

30代教授の積極採用



伊丹 健一郎



東山 哲也



山口 茂弘



吉村 崇



唯 美津木



五島 鋼太